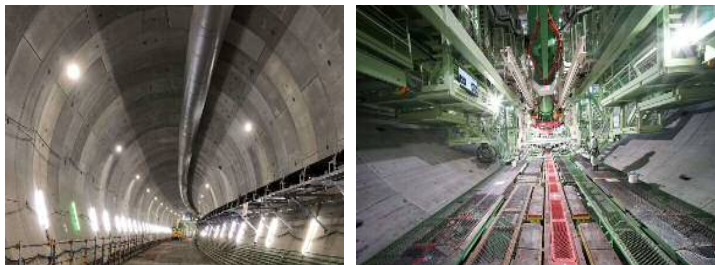


- ・本線トンネルの東名側シールドマシン2基は平成29年2月に発進し、それぞれ発進箇所から約4.4km、約3.5kmの位置。
- ・本線トンネルの大泉側シールドマシン2基は平成31年1月に発進し、それぞれ発進箇所から約1.1km、約0.5kmの位置。
- ・令和2年10月に発生した陥没事故を受け、シールドマシンの掘進作業を停止している。
- ・なお、大泉JCT内で掘進作業を停止していた大泉本線（北行）および大泉JCT Fランプシールドトンネルについて、地盤改良区間内で停止していることから、安全確保のための事業用地内における保全措置として、地盤改良区間の外側までの必要最小限の掘進を行っている。

・陥没箇所の状況
(令和2年10月18日12:30)



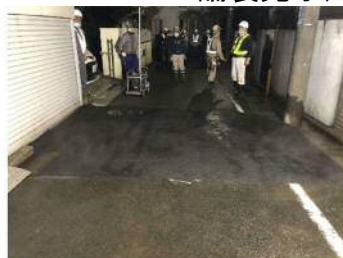
・東名側 トンネル内状況(令和2年7月撮影)



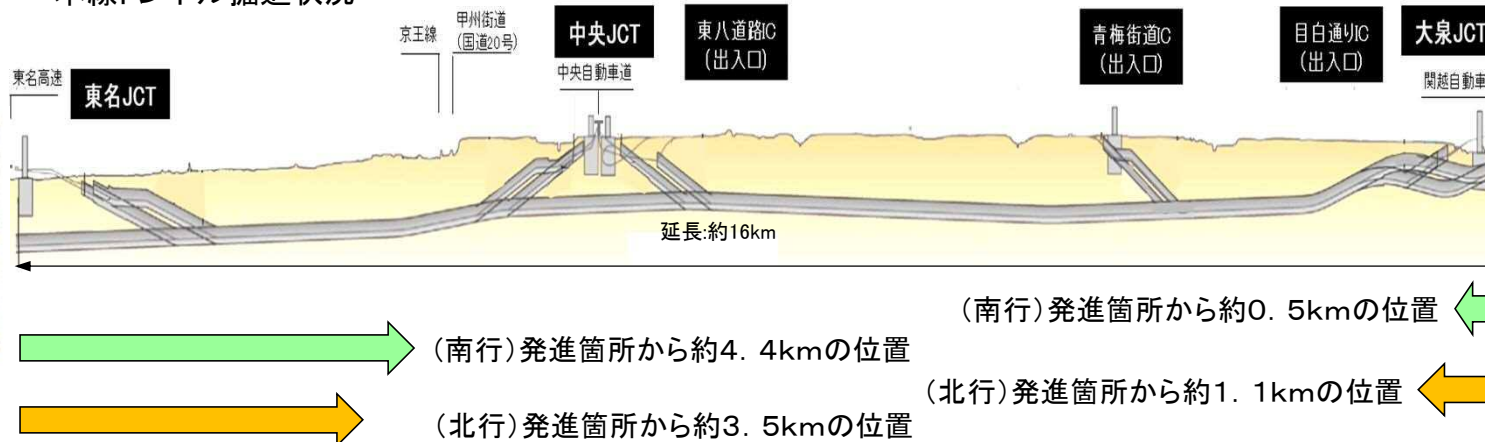
・大泉側 トンネル内状況(令和2年7月撮影)



・陥没箇所の応急復旧
対応状況
(令和2年10月19日
4:25舗装完了)



・本線トンネル掘進状況

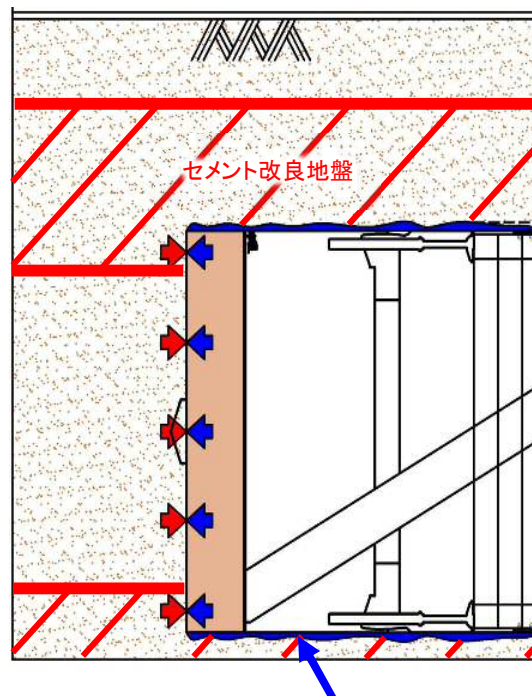


- 大泉JCT内で掘進作業を停止していた大泉本線(北行)および大泉JCT Fランプシールドトンネルについて、定期的にカッター回転を行うなど適切に管理を行っていたが、シールドマシンと周辺のセメント改良地盤との固着に伴い、シールドマシンへの負荷が大きくなっている傾向が確認され、安全確保のための事業用地内における保全措置として、地盤改良区間の外側までの必要最小限の掘進を行っている。
- この保全措置は有識者委員会において取りまとめられた再発防止対策を踏まえて実施し、地表面変位や振動・騒音等を確認するとともに、地表面に異常が生じていないか徒歩等による巡回を行う等、モニタリングを強化している。
- 引き続き、国、東京都、NEXCO東日本及びNEXCO中日本は、相互協力の下、安全を第一に取り組むとともに、沿線区市とも密に情報共有しながら対応している。
- シールドマシン掘進作業以外の各ジャンクション等の工事、調査、用地買収については、地域への影響や関係者の状況等に配慮しつつ、引き続き取り組んでいる。

【大泉JCT周辺の状況】



【大泉JCT付近のシールドマシン(地盤改良区間)の状況】



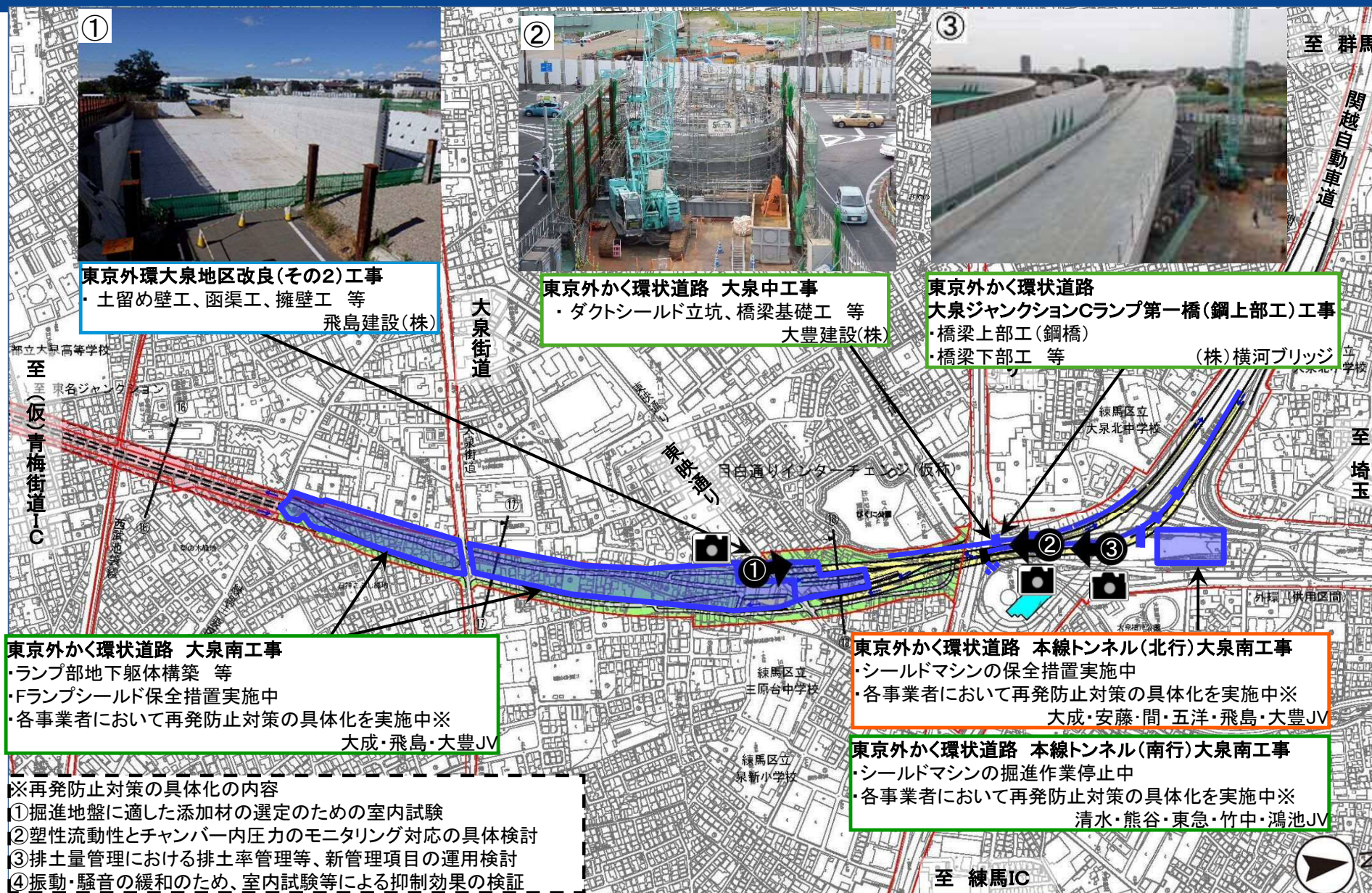
シールドマシンと周辺のセメント改良地盤との固結

【大泉JCT付近のモニタリングの状況】



■工事実施状況（大泉JCT）

R3年8月末現在



国土交通省施工

NEXCO中施工

NEXCO東施工

用地取得の形態

用地買収部

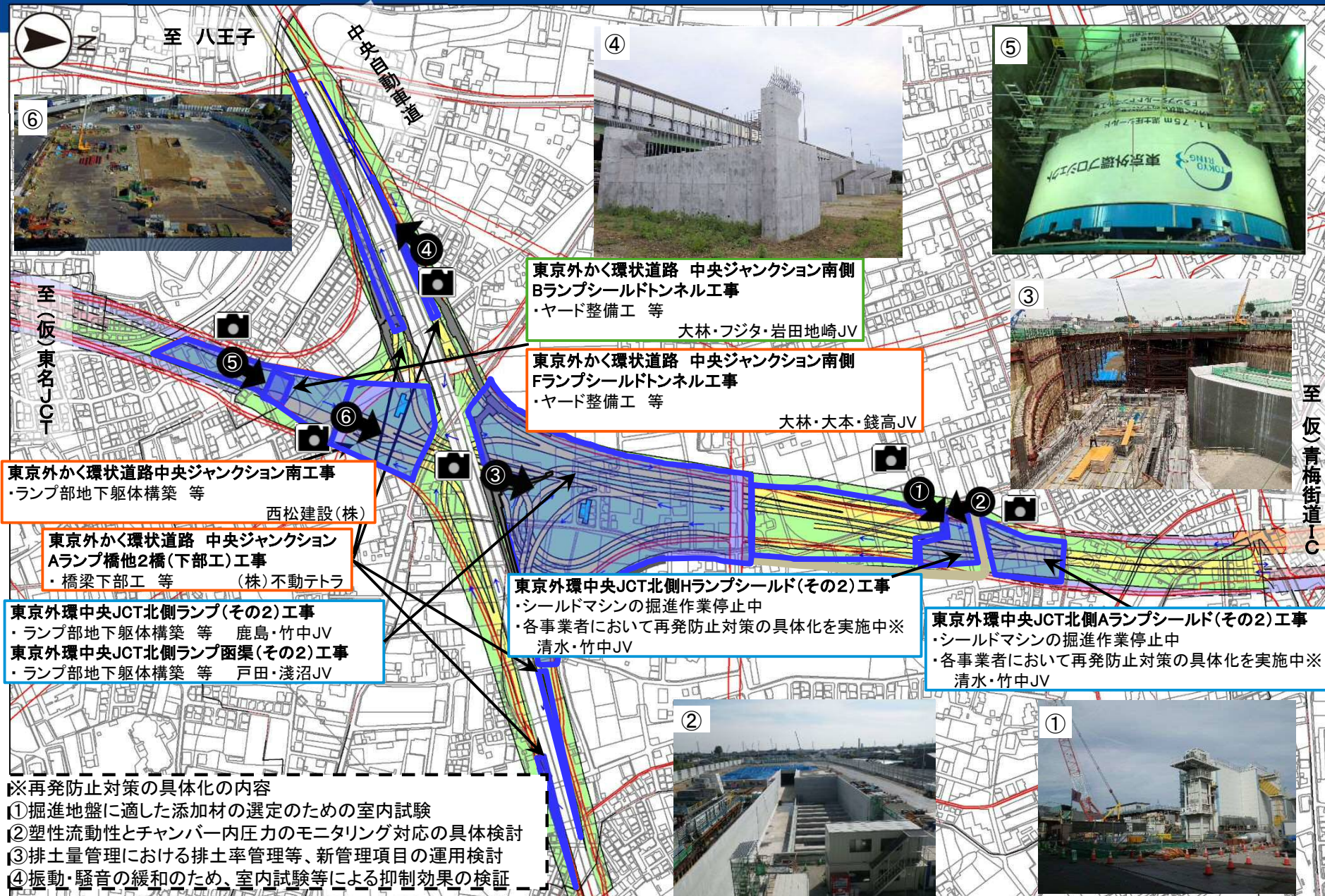
区分地上権取得部

大深度地下使用部

工事実施箇所

■工事実施状況（中央JCT）

R3年8月末現在



国土交通省施工

NEXCO中施工

NEXCO東施工

用地取得の形態

用地買収部

区分地上権取得部

大深度地下使用部

工事実施箇所

